

令和2年度

事業報告書

さざなみ学園

目 次

1. 寄 附	1
2. 施設入所支援	
2-1 利用者の状況	1
2-2 利用者の動向	1
2-3 利用実績	2
3. 生活介護	
3-1 利用者の状況	2
3-2 利用者の動向	2
3-3 利用実績	2
3-4 日中活動	3
4. 短期入所・日中一時支援	
4-1 利用者状況	4
4-2 利用実績	4
5. 福祉型障害児入所施設	
5-1 入所児童の状況	4
5-2 入所児童の動向	5
5-3 利用実績	5
5-4 職業指導	5
5-5 余暇活動	6
6. 放課後等デイサービス	
6-1 利用者の状況	6
6-2 利用実績	7
6-3 活動内容	7
7. 保健衛生	8
8. 行事	9
9. 外出	10
10. 自治活動	11
11. 給 食	11
12. 防災・防犯	14
13. 職員の配置	15
14. 職員研修	16
15. ボランティアの受け入れ	17

16. 視察・研修・慰問の受け入れ	17
17. 実習の受け入れ	17
18. 保護者会活動	17
19. 相談支援	17
20. 苦情相談	17
21. 事業計画に対する評価	18

令和2年度 事業報告

福祉型障害児入所施設では、18歳以降の進路について、児童相談所、支給決定者とケース会議等を実施し、方向性を見出し、児童が2名が地域移行した。

また、近年ニーズが増えている社会的養育が必要なケースについて、1名の児童が対応困難な状況となり、児童相談所、病院とケース会議を重ね、退所・家庭復帰となった。

退所後の児童の生活のためにフォローアップを行い、これからの児童の支援に生かすようにした。

国から新型コロナウイルス感染防止対策のため、令和2年4月20日から5月11日の間、特別支援学校が休校となった。感染対策の強化（手洗い・換気・分散）を行い、休校によるストレスに配慮するように心がけた。

障害者支援施設では、施設入所支援においては、新型コロナウイルス感染症対策の強化を実施した。日中活動の生活介護では、個々のニーズにあわせてグループの変更を行うなど、利用者が意欲的に取り組めるよう工夫した。また、新型コロナウイルス感染症対策で外出ができないため、テイクアウトを利用するなど、活動内容の工夫を行った。障害者の権利擁護・虐待防止については、月間目標を掲示して職員が意識できるように継続した。また、意思決定支援についてグループワーク研修を実施して、共通の理解と自己研鑽に務めた。

放課後等デイサービス事業や短期入所事業、日中一時支援事業においては、新型コロナウイルス感染症対策のため、法人の警戒態勢時において利用の中止をお願いした。放課後等デイサービス事業については、保護者や柏崎市の要望もあり、令和2年12月より感染症対策を十分に行ったうえで、警戒態勢中も放課後等デイサービス事業の営業を行った。

以下、令和2年度の事業を報告する。

1. 寄 附

寄附金

年 月 日	寄 附 者	金 額
R2. 12. 6	東京電力労働組合 柏崎・刈羽原子力支部 様	50,000円
R2. 12. 22	アトレ 柏崎店 様	100,000円
計	2 件	150,000円

2. 施設入所支援

2-1 利用者の状況（令和3年3月31日現在）

① 出身市町村別人数

市町村	柏崎市	刈羽村	長岡市	計
男 性	14	2	2	18名
女 性			1	1名
計	14	2	3	19名

② 年齢別人数及び平均年齢

年 齢	26	27	28	29	30	31	33	34	35	36	37	40	42	計
男 性	2	1	3	1	2	1	1	1	1	2	1	1	1	18名
女 性	1													1名
計	3	1	3	1	2	1	1	1	1	2	1	1	1	19名
年 齢	最高年齢			最少年齢			平均年齢			全体平均年齢				
男 性	42歳 6か月			26歳0か月			32歳6か月			31歳 6か月				
女 性	26歳 6か月			26歳6か月			26歳6か月							

③ 障害支援区分別人数

区分	3	4	5	6	計
男性	1		7	10	18名
女性			1		1名
計	1		8	10	19名

④ 療育手帳の区分

	A	B	計
男性	18		18名
女性	1		1名
計	19		19名

⑤ 身体障害の症状別重複者

症状	聴覚	計
男性	2	2名
女性		
計	2	2名

⑥ てんかん及び精神障害の状況発達障害

症状	てんかん	自閉症スペクトラム (広汎性発達障害・自閉症等)	計
男性	7	3	7
女性			
計	7	3	7

2-2 利用者の動向

*なし

2-3 利用実績

定員 (人)	実人員 (人)	年間営業日 (日)	利用可能数 (人・日)	延利用者数 (人・日)	利用率 (%)	平均利用者数 (人/日)
20	19	365	7,300	6,217	85%	17.0

3. 生活介護

3-1 利用者の状況 (令和3年3月31日現在)

- ① 出身市町村別人数
 - ② 年齢別人数及び平均年齢
 - ③ 障害支援区分別人数
 - ④ 療育手帳の区分
 - ⑤ 身体障害の症状別重複者
 - ⑥ てんかん及び精神障害の状況発達障害
- ①～⑥までは、施設入所支援と利用者が同じである。

3-2 利用者の動向

- ① 新規契約
*令和2年4月1日 男性利用者1名 契約
- ② 契約の終了
*令和2年9月2日 男性利用者1名 契約の終了

3-3 利用実績

定員 (人)	実人員 (人)	年間営業日 (日)	利用可能数 (人・日)	延利用者数 (人・日)	利用率 (%)	平均利用者数 (人/日)
20	20	269	5,380	4,851	90.1%	18.0

3-4 日中活動

新型コロナウイルス感染症対策として、お茶休憩時など、こまめな手洗いと手指の消毒をおこなった。

① 海グループ <男性10名、女性1名、計11名>

- ・各イベントにて、エコバックを無料で配布した。
- ・空グループとの合同で、「散歩」を実施した。
- ・メンバーを限定しての「クリーンセンターへのごみ運搬作業」を実施し、効果を得た。
- ・にっこり活動として、下記の活動を実施した。

月		月	
4	ボールを使ったレクリエーション<お菓子・ジュース>	11	カップラーメン作り<カップラーメン>
6	ボーリングゲーム<ジュース>	12	茶話会<カレーナン、ジュース>
7	お菓子バイキング<お菓子・ジュース>	1	ゲーム大会<お菓子>
9	お菓子作り<冷凍スイーツ>	2	茶話会<コロケ、ジュース>
10	カップラーメン作り<カップラーメン>	3	茶話会<ケーキ、ジュース>

空グループ <男性7名、女性0名 計7名>

- ・午前は、歩行を中心に取り組み、利用者の健康の維持に努めた。
- ・午後は、個々の特性にあった自立課題を提供した。
- ・点字新聞のポチ袋の作成し、保護者販売を行なった。
- ・にっこり活動として、下記の活動を実施した。

月		月	
4	カップラーメン作り <カップラーメン・ジュース>	11	お菓子バイキング<お菓子・ジュース>
6	お菓子バイキング<お菓子・ジュース>	12	お菓子バイキング<お菓子・温かいカフェオレまたはココア>
7	電子レンジで屋台風メニュー<お好み焼き・焼きそば・フライドポテト・サイダー>	1	お菓子バイキング<お菓子・ジュース>
9	カップラーメン作り<カップラーメン・ジュース>	2	コロケと温かい飲み物飲食<コロケ・ココアまたはカフェオレ>
10	ピザトースト作り<ピザトースト・タピオカミルクティー>	3	スイーツと米菓とジュース飲食<シュークリーム・せんべい・コーラ>

③ 嗜好別外出

社会体験の拡大をはかるため、嗜好別の外出を一人につき年間2回ずつ実施した。新型コロナウイルスの全国的な感染拡大のため、当初の予定を変更してドライブとテイクアウト昼食を中心に実施した。

月		月	
5	19日(火)ドライブ 6名 <刈羽村源土公園/自動販売機ジュース>	9	15日(火)テイクアウト昼食/ドライブ 6名 <ほっともっと弁当/柏崎駅前公園>
6	23日(火)テイクアウト昼食/ドライブ 6名 <ガスト弁当/みなとまち海浜公園>	10	27日(火)テイクアウト昼食/ドライブ 6名 <からやま弁当/刈羽村源土公園>
7	16日(木)テイクアウト昼食/ドライブ 6名 <ガスト弁当/夕日が丘公園>	11	24日(火)テイクアウト昼食/ドライブ 6名 <里味弁当/さざなみ学園>

④ 社会経験

内容	実施月と回数	計
パンの日	4、5、6、7、9、10、11、1、2月	9回

⑤ 創作活動

内容	実施月と回数	計
絵画制作	7月1回、8月1回	2回
ゲーム	4月1回、5月1回、6月1回、12月2回、1月1回	6回

4. 短期入所

4-1 利用者状況

短期入所利用者 7名（新規利用者3名）、日中一時支援 12名（新規利用者4名）を受け入れた。
新型コロナウイルス感染症警戒態勢時は短期入所、日中一時支援の受け入れを中止とした。

4-2 利用実績

① 併設型短期入所

定員 (人)	実人員 (人)	年間営業日 (日)	利用可能数 (人・日)	延利用者数 (人・日)	利用率 (%)	平均利用者数 (人/日)
4	2	365	1,460	149	10.2%	0.4

② 空床型短期入所

受け入れ可能数 (人)	実人員 (人)	年間営業日 (日)	利用可能数 (人・日)	延利用者数 (人・日)	利用率 (%)	平均利用者数 (人/日)
4	2	365	1,460	437	29.9%	1.19

③ 日中一時

定員 (人)	実人員 (人)	年間営業日 (日)	利用可能数 (人・日)	延利用者数 (人・日)	利用率 (%)	平均利用者数 (人/日)
4	14	365	1,460	1,136	77.8%	3.1

5. 福祉型障害児入所施設

5-1 入所児童の状況（令和3年4月1日現在）

① 出身市町村

市町村	柏崎市	上越市	長岡市	新潟市	燕市	計
男性	4	1		1	1	7名
女性	1	2	1			4名
計	5	3	1	1	1	11名

② 年齢別人数及び平均年齢

年齢	7	11	13	14	15	16	17	計
男性	2			3			2	7名
女性		1	1		1	1		4名
計	2	1	1	3	1	1	2	11名

年齢	最小年齢	最高年齢	平均年齢	全体平均年齢
男性	7歳4か月	17歳11か月	12歳6か月	13歳5か月
女性	11歳3か月	16歳8か月	13歳4か月	

③ 知的障害の判定人数

判定	A	B	計
男性	1	6	名
女性	2	2	6名
計	3	8	11名

④ てんかん及び精神障害の状況

症状	てんかん	自閉症スペクトラム			計
		広汎性発達障害	自閉症	注意欠陥多動性障害	
男性		1	3	2	6名
女性	1	2	1	1	5名
計	1	3	4	3	11名

5-2 入所児童の動向

① 入所

- * R 2. 4. 1 燕市男児入所
- * R 2. 4. 6 上越市女児入所

② 退所

- * R 3. 3. 2 4 新潟市女児退所 (地域移行)
- * R 3. 3. 2 4 長岡市男児退所 (障害者支援施設入所)
- * R 3. 3. 3 1 上越市市女児退所 (家庭復帰の地域移行)

5-3 利用実績

4月に男児1名、女児1名の入所で14名の利用であった。
 新型コロナウイルス感染対策の為、国から学校休業の指示があり、3月2日から学校が休業になり、5月12日から分散登校が始まる。今まで通りの実施が出来なかった事や、代替や、工夫をして実施した事も多かった。

定員 (人)	実人員 (人)	年間営業日 (日)	利用可能数 (人・日)	延利用者数 (人・日)	利用率 (%)	平均利用者数 (人/日)
20	14	365	7,300	4,758	65%	13.0

5-4 職業指導

利用者が障害児入所施設を退所した後、できる限り社会に適應できるよう、長期休みには作業体験、居室やその他の掃除の支援、挨拶練習、ハガキ作成、投函練習、徒歩による交通練習、調理器具使用練習を実施した。この他にも講師を招いての職業講和を予定していたが、新型コロナウイルス感染対策のため中止した。交通練習(バス)、調理体験、販売体験、他事業所施設の生活介護体験の支援は新型コロナウイルス感染対策の為実施できなかった。

長期休み期間に作成した作品を保護者、同法人の相談支援事業所、柏崎信用金庫にて販売した。
 令和2年3月2日より、学校休業に伴い長期休み体制として職業指導を行った。

年月日	内容	対象者
R2. 4. 1 ~4. 6	作業体験、各課題、運動、居室等の掃除支援(春休み)	小学・中学・高等部の児童
2. 4. 20~ 5. 11	作業体験、各課題、運動、居室等の掃除支援(休校)	小学・中学・高等部の児童
2. 5. 12~ 5. 31	作業体験、各課題、運動、居室等の掃除支援(休校)	小学・中学・高等部の児童 (分散登校)
2. 7月~	相談支援事業所「みにころ」にて作品販売開始	高等部の児童
2. 8月	保護者へ作品販売(注文用紙使用)	高等部の児童
2. 8. 6 ~	作業体験、各課題、運動、居室等の掃除支援(夏休み)	小学・中学・高等部の児童

8. 23		
R2. 12. 25 ~ R3. 1. 7	作業体験、各課題、運動、居室等の掃除支援（冬休み）	小学・中学・高等部の児童
2. 12. 28	年賀状制作、徒歩による交通練習、ポストへの投函練習	小学・中学・高等部の児童
R3. 2. 4	ハガキ作成練習	高等部の児童（5名）
3. 2. 5	徒歩による交通練習 郵便ポストへの投函練習	高等部の児童（5名）
3. 2. 5	手洗い練習、調理器具使用練習	小学・中学・高等部の児童 （8名）
3. 3月～	柏崎信用金庫にて作品販売開始	高等部の児童
3. 3. 25 ～3. 31	作業体験、各課題、運動、居室等の掃除支援（春休み）	小学・中学・高等部の児童
3. 30	保育士によるリトミック	小学・中学・高等部の児童

5-5 余暇活動

・新型コロナウイルス感染拡大を防ぐ為、手作りおやつを中止した。お菓子バイキングについても例年より回数を控えた。新型コロナウイルス警戒態勢時には外出できないため、DVD をレンタルしてきて上映会を行い、利用者が楽しめるようにした。

内容	実施月と回数	計
絵画制作	8月1回、10月1回	2回
レク	3月1回	1回
散歩、外遊び	4月3回、5月3回、9月1回、3月3回	10回
水遊び	8月6回	6回
おかしバイキング	10月1回	1回
DVD上映	4月1回、8月2回、11月1回、12月1回、1月1回	6回

6. 放課後等デイサービス

6-1 利用者の状況（令和3年3月31日現在）

① 出身市町村別人数

市町村	柏崎市	刈羽村	上越市	出雲崎町	福島県	計
男性	23	1	2			26名
女性	8			1	1	10名
計	31	1	2	1	1	36名

②年齢別人数及び平均年齢

	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計
男性	2	2	2	1	8	5	3	1	1	1	26名
女性	2	1		1	2	3				1	10名
計	4	3	2	2	10	8	3	1	1	2	36名
年齢	最高年齢			最少年齢			平均年齢			全体平均年齢	
男性	18歳11か月			9歳3か月			13歳5か月			13歳5か月	
女性	18歳6か月			9歳4か月			12歳5か月				

6-2 利用実績

新型コロナウイルス感染症警戒態勢時は受け入れを中止した。1月以降の警戒態勢時には、感染拡大防止に努めながら受け入れを継続した。

定員 (人)	実人員 (人)	年間営業日 (日)	利用可能数 (人・日)	延利用者数 (人・日)	利用率 (%)	平均利用者数 (人/日)
10	23	190	1,900	1,511	79.5%	7.95

6-3 活動内容

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年通りの内容で実施することはできなかったが、子供たちが楽しめるよう活動内容を工夫した。

① 行事

月	内容	参加人数
4	花見	延人数 13名
5	絵画制作	8名
6	スポーツ大会	延人数 12名
7	七夕	延人数 25名
8	夏まつり	16名
9	デザートバイキング	8名
10	ハロウィンパーティー	延人数 25名
11	絵画制作	10名
12	クリスマス	延人数 22名
1	お正月遊び	延人数 11名
2	豆まき	9名
3	ひな祭り	延人数 17名

② 余暇活動（学校長期休暇期間）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、集団活動（手作りおやつ、レクリエーション等）は控えるようにした。集団活動のかわりに、個別活動を中心に余暇支援を行った。

③ 避難訓練

月	訓練形態	
6月	地震時における避難訓練・救助訓練	8名参加
7月	活動前の地震時の火災時における避難訓練 (津波・水害を想定した避難訓練)	9名参加
10月	火災時における避難訓練(消火訓練・通報訓練)	9名参加

7. 保健衛生

通年新型コロナウイルス感染症対策を実施し、感染症対策の標準化を行った。標準対策が高次対応となった事で流行性感冒や感染性胃腸炎などの発生も抑制できた。反面、利用者と職員に予防対応を常に要請する事で精神的な疲労を強いる事になった。度重なる新型コロナウイルス感染症「警戒態勢」の実施による保健事業の予定変更や内科嘱託医の多忙などがあり、内科健診や特定夜勤者健診が医療相談と同時開催となる事象が発生した。不足していた衛生材料や感染対策物資は国や自治体の援助で十分な在庫を確保できた。

① 検診

年月日	項目	人数	内 容
2. 4. 13	学校身体計測	14	はまなす特別支援学校生
4. 13	尿検査	14	はまなす特別支援学校生
4. 15	学校胸部レントゲン（高1）	1	はまなす特別支援学校高等部1年生
4. 15	学校心電図検査（1学年）	4	はまなす特別支援学校小中高1年生
6. 10	学校歯科科検診	14	はまなす特別支援学校生
6. 30	学校内科健診	14	はまなす特別支援学校生
9. 1	学校耳鼻科検診	14	はまなす特別支援学校生
9. 30	学校歯科検診	14	はまなす特別支援学校生（学校医）
<hr/>			
2. 6. 10	成人利用者歯科検診	19	歯科嘱託医往診 山川歯科医師
7. 6	成人利用者健康診断、内科検診	19	採血、心電図、胸部レントゲン、検尿
11. 5	成人利用者内科健診	19	内科嘱託医往診、インフルエンザ予防接種
<hr/>			
11. 19	インフルエンザ予防接種二回目	3	内科嘱託医往診 佐藤医師

② 入院

利用者	年齢	医療機関	症状	期間	日数
児童女性Aさん	13	精神医療センター C 1病棟	医療保護	R2. 6. 25- 7. 15	16日
成人男性Bさん	30	柏崎総合医療センター	交通事故、腹腔内 出血疑い	R2. 9. 2- 9. 4	3日
児童女性Aさん	14	精神医療センター C 1病棟	医療保護	R2. 11. 19- R3. 3. 31入院中	133日

③通院

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計(名)	
		精神科	男		9	6	9	7	8	8	9	11	6	10	8
	女	5	3	4	6		4	5	4	3	2	1	3	40	
内科	男		1	3	2	1		1	4	4	2	1	3	22	22
	女														

泌尿器科	男	1		1		1			1	1		1		6	6
	女														
整形外科	男	1	1					2			1			5	5
	女														
歯科	男	5	3	1	3	3	3	5	7	7	2		5	44	49
	女			1				1		1		2		5	
眼科	男					2				1	1	1	1	6	9
	女				3									3	
耳鼻科	男	2	2	2	1	2		2	1	2	1	3	5	23	38
	女	1	1	2	2	1	1	3	1	1	1	1		15	
皮膚科	男	6	4	6	6	6	2	2		3	3	3	2	43	83
	女			6	6	8	3	2	5	4	2	3	1	40	
小児科	男	6	8	7	10	7	8	5	7	6	4	7	5	80	96
	女	1	1	2	2	2	1	3		1	2	1		16	
計 (名)	男	21	28	26	31	29	23	23	29	36	19	26	29	320	439
	女	7	5	15	19	11	9	14	10	10	7	8	4	119	

- 注 1 ; 内科には、神経内科、脳神経内科が含まれる。
 2 ; 整形外科には、外科、脳外科が含まれる。
 3 ; 小児科には、小児循環器科が含まれる。
 4 ; 救急外来は、次受診の科に含まれる

8. 行事

施設での生活に潤いと安らぎを与え、季節感がもてるように行事を企画した。新型コロナウイルス感染症対策により、例年通りの形式で実施が出来ない行事があったが、代替えや工夫し行事を行った。

園内行事

月	日	曜	行 事	内 容
5	11	月	バスドライブ (者)	班ごとに市内をドライブ (成人 18名)
6	17	水	えんま市	中止の為に代替えで、施設にて弁当を会食 (成人 18名)
6	30	火	中華フェア	昼食：食堂 (成人 18名)

7	7	火	七夕	七夕会：遊戯室 昼食、おやつ：遊戯室、食堂
8	20	木	さざなみ 夏祭り	催し物：遊戯室、デイルーム 昼食：遊戯室、食堂
9	8	火	デザートバイキング	おやつ：食堂
9	24	木	野外会食	施設屋外にて弁当を会食（成人 18名）
10	14	水	スポーツの日	レクリエーション 施設にて弁当を会食（成人 18名）
10	26	月	ハロウィーン会	おやつ：食堂
11	19	木	ラーメンフェア	昼食：食堂、遊戯室（成人 19名）
12	25	金	クリスマス会	クリスマス会：遊戯室 昼食、おやつ：食堂、遊戯室
1	8	金	新年会	催し物：遊戯室、デイルーム 昼食：遊戯室、食堂
2	3	水	節分	遊戯室：豆まき 昼食、おやつ：食堂
2	10	水	バレンタイン会	おやつ：食堂
3	3	水	ひなまつり	遊戯室：雛人形 おやつ：食堂

9. 外出

利用者が、外出を楽しみ、地域社会の一員としての存在感を体得するとともに、社会のルールやマナー等を学習することを目標にして外出を支援した。

新型コロナウイルスの全国的な感染拡大の影響で、地域行事への参加を見送り、大型連休や夏休みの外出も今までのように出来なかったが、テイクアウトを利用した外出をするなど外出の形態に工夫をして、利用者が楽しめるように支援した。

① 居室外出

各居室の利用者が、主にその担当職員との外出を以下の形態で実施した。

A. 昼食外出・・・利用者が、職員と昼食に出かけた。テイクアウトで実施。（成人のみ）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数			6										6回
人数			18										18名

B. 喫茶外出・・・利用者が、職員と喫茶に出かけた。テイクアウトで実施。（児童のみ）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数			7										7回
人数			14										14名

C. 夕食外出・・・利用者が、職員と夕食に出かけた。テイクアウトで実施。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数						6	11	1					18回
人数						10	20	2					32名

② 希望外出・・・利用者の希望に基づき、休日を活用して職員と買い物やドライブに出かけた。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	10	10	19	9	5	5	12	3	5	2	7	7	94回
人数	41	44	63	37	23	25	49	14	26	10	34	32	398名

③ 自主外出・・・利用者が届け出を提出して、一人で出かけた。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数			1	4	3	2	2		1		1	1	15回
人数			1	4	3	2	2		1		1	1	15名

④ 地域行事への参加

新型コロナウイルスの全国的な感染拡大の為、実施なし。

10. 自治活動

① 自治会

利用者一人ひとりの希望が生活に反映されるような話し合いの場を、夏休み、冬休み、春休みの年4回設定した。

② 誕生会

毎月1回、誕生会を実施し、当月に誕生日を迎える利用者を祝福した。

(5月は該当者がいないため実施せず)

当月に誕生日を迎える利用者から、希望メニューを聴取し、昼食又は夕食に提供した。

③ 地域活動

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、地域活動の一環として行っていた合同清掃は中止とした。

④ その他

・利用者への情報提供の為の掲示板を作成し、情報提供に努めた。

・柏崎市長選挙に2名が投票した。

11. 給食

児童の入所に伴い、健全な発育・発達を促すために必要なエネルギー量・各種栄養素を摂取できるように、個人の成長の程度を観察し評価を行い、提供栄養量について考慮した。

① 給与栄養量

栄養素 (単位)	エネルギー (kcal)	たんぱく質 (g)	脂質 (g)	炭水化物 (g)		カルシウム (mg)
					食物繊維 (g)	
数値	2,110	80.8	65.4	289.7	18.1	580
栄養素 (単位)	鉄 (mg)	β-カルステロール (μg)	ビタミンB ₁ (mg)	ビタミンB ₂ (mg)	ビタミンC (mg)	食塩相当量 (g)
数値	9.2	546	1.14	1.26	106	11.0

② 食品構成 (単位; g)

食品	穀類		いも及び でんぷん類	砂糖および 甘味類	豆類	種実類
	米類	小麦類その他				
数値	173	88.7	61.5	9.6	57.3	1.8
食品	野菜類		果実類	きのこ類	藻類	魚介類
	緑黄色野菜	その他野菜				
数値	123	206	104	31	2.4	79
食品	肉類	卵類	乳類	油脂類	菓子類	嗜好飲料類
数値	88	44	160	12.4	51.7	50.5
食品	調味料および 香辛料類	調理加工 食品類	※日本食品標準成分表 2015年版(七訂)の搭載に準ずる			
数値	376	27				

③ 食事時間と形態

入浴後の水分補給は、新型コロナウイルス感染拡大を考慮し実施しなかった。また、利用者と職員が同じ時間帯に食事を摂取しないように、食事提供時間の幅を設けた。

食 事	食事提供時間 (開始時間)	形 態
朝 食	7:30~9:30 (8:00)	1週間のうち3回パン・4回米飯
お茶	10:30	お茶、日曜日；ジュース
昼 食	11:45~13:45 (12:00)	1週間のうち5回米飯・2回麺類 行事食、希望メニュー、選択メニュー
おやつ	成人；14:30~15:00 (14:30) 児童；15:00~15:30 (15:00)	手作りおやつ、お菓子、飲み物
夕 食	17:30~18:30 (18:00)	米飯、希望メニュー、行事食

④ 提供食種内訳 (R3年3月31日現在)

学校給食においてアレルギー対応が必要な場合は、代替食品の提供を行った。

提供食種 (名)	2,400 kcal	2,200 kcal (施設基準)	2,000 kcal	1,800 kcal	計	
	5	13	7	6	31	
形態調整食 (名)	一口カット	一口カット	一口カット		計	
	2	2	4		8	
		きざみ			計	
		1			1	
特別指示食	内容	エビ・カニ・タコイアレルギー		魚卵アレルギー	乳糖不耐症	計
	名	1		1	1	3

⑤ 行事食

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、メニューの内容を複数選択できるように工夫を行った。

月	行 事	区 分	献 立
4	お楽しみランチ		中止
	誕生会	昼食	つけ麺 エビチリ 中華ごま団子
5	こどもの日	昼食	オムライス 鶏のから揚げ クラムチャウダー 2色抹茶プリン (間食) ケーキ 紅茶
6	中華フェア	昼食	①中華粥 ②鮭のレタスチャーハン ③あんかけかた焼きそば ④ワンタンメン ①~④の主食より、2つまで選択可 ----- (共通) 棒棒鶏 タピオカミルクティーゼリー
	誕生会	夕食	ロコモコ丼 カレー風味スープ イカの Pasta サラダ 手作りプリン

7	七夕フェア	昼食	A;七夕すし丼 あおさのみそ汁 B;なめこおろし稲庭うどん (AまたはBより選択) ----- (共通) 夏野菜のかき揚げ 水まんじゅう
	誕生会	夕食	ハンバーグカレー 野菜スープ シーフードサラダ チョコバナナパフェ
8	サマーフェスティバル	昼食	(主 菜) ①カレーライス ②焼きそば (副 菜) ①揚げたこ焼き ②アメリカンドック (デザート) ①かき氷 (イチゴ・メロン・ブルーハワイ) ②チョコバナナ → それぞれ1つずつ選択可 ----- (共通) から揚げ トウモロコシ フライドポテト
	誕生会	夕食	たれカツ丼 さつま芋のみそ汁 サーモンと玉ねぎのさっぱりサラダ フルーツポンチ
9	デザートバイキング	間食	(おやつ) ①生チョコ ②抹茶ロールケーキ ③ミニメロンパン ④ピザポテト ⑤焼きおにぎり → ①～⑤より3つまで選択可 (飲み物) ①メロンソーダー ②コカ・コーラ ③オレンジジュース → ①～③より1つまで選択可
	野外会食	昼食	ランチBOX (かしわハンズ様より)
	誕生会	夕食	ハヤシライス レタススープ スパゲティーサラダ リンゴのコンポート
10	誕生会	夕食	いなり寿司 豚汁 そぼろあんのミルク茶碗蒸し 抹茶パフェ
11	お楽しみランチ (ラーメンフェア)	昼食	(ラーメン) ①醤油ラーメン ②野菜味噌ラーメン ③塩バターコーンラーメン (ミニ丼) ④から揚げ丼 ⑤マーボー丼 ⑥鮭親子丼 ⑦鉄火丼 (ジュース) ⑧コカ・コーラ ⑨カルピスウォーター ⑩オレンジジュース ⑪ミルクティー ⑫緑茶 ★ラーメン、ミニ丼、ジュースより、1つずつ選択可 ----- (共通) カスタードプリンフルーツ添え
	誕生会	夕食	ごはん コンソメスープ 焼きカレーハンバーグ 白菜とリンゴのサラダ 豆乳プリン
12	誕生会	夕食	鉄火丼 すまし汁 から揚げシーザーサラダ 手作りプリン
	クリスマス会	昼食	フレンチトースト パスタスープ フライドチキン 人参グラッセ サーモンマリネ ツリ ーサイズ ティラミス ジンジャーエール&リンゴジュース
	年越しメニュー	夕食	オードブル (外注) 海鮮ちらし寿司 かけそば いちご
1	新年会	昼食	握りずし (マグロ・サーモン・玉子・かっぱ巻き・納豆巻 (外注)) 雑煮 一口ステーキ 根菜の黒酢マリネ 千草焼 エビのバリバリ揚げ 抹茶ケーキ
	誕生会	夕食	海鮮寿司丼 五目かきたま汁 かぼちゃのはさみ揚げ チョコバナナパフェ
2	節分	昼食	ヒレカツ巻寿司 そば汁 車麩の角煮風 黒ゴマプリン

	バレンタイン	間食	チョコレート
3	ひな祭り	夕食	桜のちらし寿司 すまし汁 ミートボールのトマトソース煮 フライドポテト 三色プリン
	誕生会	昼食	トロトロオムライスのデミソースかけ 野菜スープ 水菜とフルーツのサラダ コロケ盛合せ 杏仁豆腐の2色ゼリー

⑥栄養ケア・マネジメント

利用者の健康増進、生活習慣病の改善と重症化予防を目的とし、食生活の改善を図るため定期的にモニタリングを行い、利用者の健康状態を把握した。保護者面談については、新型コロナウイルス感染防止の観点から、面談の工夫を行う必要があった。

月	内容 (実施人数)		
	モニタリング	栄養ケアケース会議	保護者面談
4	19	6	
5	6	7	1
6	6	6	
7	19		
8	9		
9	7		
10	19	6	
11	6	7	
12	7	6	
1	19		
2	7		
3	7		
計	131	38	1

1.2. 防災・防犯

毎月、災害防護訓練を行い、避難誘導と消火器を用いた消火動作訓練を実施した。

原子力災害対策設備を使用し、原子力災害を想定した避難訓練を実施し、同時にフィルタリングシステム取り付け訓練、防護服着用訓練、非常食の提供訓練を行った。

訓練形態	回数
消防署員立ち合いによる夜間を想定した総合防災訓練 (消火器訓練)	1
職員非常招集を伴う夜間における火災時の避難訓練	1
夜間を想定した火災時の避難訓練・救助訓練	2
積雪状況下における火災時の避難訓練	1
休日体制下の火災時における避難	1
地震時の避難訓練 (津波・水害、風害、土砂災害からの避難が1回ずつ)	3
近隣施設「松風の里」との連携による夜間を想定した火災時の避難・救助訓練	1
原子力災害時における避難訓練	2

火災時における避難訓練（余暇、夜間を想定した避難が1回ずつ）	2
計	14回

1.3. 職員の配置（令和2年3月31日現在）

(1) 福祉型障害児入所施設

職 種	員数	区 分				備 考
		常 勤		非常勤		
		専従	兼任	専従	兼任	
園 長	1		1			社会福祉士
児童発達支援管理者	1	1				保育士
保育士 児童指導員 職業指導員	8	7	1			社会福祉士 3名 保 育 士 4名
医 師 (嘱 託)	3				3	内科、精神科、歯科
看 護 師	1		1			准看護師
栄 養 士	1		1			管理栄養士
事 務 員	1		1			

職員の異動

*令和2年7月31日付で、臨時児童指導員1名が退職した。

*令和3年3月31日付で、児童指導員1名が退職した。

(2) 障害者支援施設 ・ 放課後等デイサービス

職 種	員 数	区 分				備 考
		常 勤		非常勤		
		専従	兼任	専従	兼任	
園 長	1		1			社会福祉士
サービス管理責任者	1	1				
児童発達支援管理責任者	1	1				保育士
支 援 員	11	5	5	1		社会福祉士 4名 (精神保健福祉士1名)
医 師 (嘱 託)	3				3	内科、精神科、歯科
看 護 師	1		1			准看護師
栄 養 士	1		1			管理栄養士
事 務 員	1		1			

職員の異動

*令和2年4月1日付で、臨時支援員1名を採用した。

*令和3年3月31日付で、臨時支援員1名が退職した。

*令和3年3月31日付で、支援員1名が転出（松風の里）した。

*令和3年3月31日付で、支援員1名が退職した。

14. 職員研修

新型コロナウイルス感染症対策により、内部研修の講師を呼んだ研修ができなかったり、外部研修が中止になったため、園内のできる研修に切り替えた。また、法人内職員を呼んだ際には、感染対策に留意し行った。

(1) 内部研修

① 法人研修
実施できず。

② 施設研修

年 月 日	講 師	内 容
R2. 11. 17	グループワーク	意思決定支援について（各ケース） 参加者 11名
R3. 2. 16	グループワーク	意思決定支援について（各ケース） 参加者 9名
R3. 3. 2	山川歯科医院 歯科医師 山川尚人様 他歯科衛生士1名 歯科衛生士会 歯科衛生士 船岡陽子様	「施設職員を対象とした口腔ケア実地研修」 参加者：さざなみ学園職員 5名 松波の里職員 3名 松風の里職員 2名 にしまの里職員 1名

③ 外部研修

外部研修の中止があったため、オンデマンドの研修を利用した。

年 月 日	内 容	参加者	
R2. 9. 7	「自閉症スペクトラム障害の理解と対応」 <長岡地域振興局>	1	
R2. 10. 7	「新潟県強度行動障害支援者養成研修」基礎研修 <上越地域振興局>	1	
R2. 2. 8	国立のぞみの園セミナー 「認知症を発症した知的障害者への支援について考える。」 <オンデマンド>	1	
R2. 2. 10		1	
R2. 2. 16		1	
R2. 2. 17		1	
R2. 2. 26		1	
R2. 3. 12		1	
R2. 3. 16		1	
R2. 3. 29		1	
R3. 3. 2		「障害福祉サービス施設・事業所のための感染症対策（入所系・通所系）」 <オンデマンド>	4
R3. 3. 3			1
R3. 3. 10	1		
R3. 3. 23	1		
R3. 3. 28	1		
計	15回	18名	

④ 柏崎刈羽地域障害者自立支援協議会の職員派遣

自立支援協議会の体制が変更になる。

年 月 日	内 容	派遣職員
R2. 11~R3. 1	「緊急時の受け入れに伴う課題検討プロジェクトⅡ」 <柏崎市役所 会議室等>	1名
計	3回	3名

15. ボランティアの受け入れ

新型コロナウイルス感染症対策の為、今年度の受け入れを中止した。

16. 視察・研修・慰問の受け入れ

新型コロナウイルス感染症対策のため、受け入れをせず。

17. 実習の受け入れ

※6名の実習生受け入れ予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため1名のみを受け入れとした。

期 間	日数	学校・学年・性別	種 類	人数
R3. 2. 15 ～ 3. 2	11	育英短期大学 保育学科 2年(女性)	保育実習	1
計			1回	1名

18. 保護者会活動

※新型コロナウイルス感染対策のため、定期総会や保護者会研修等を中止した。

専門部	部員数	活 動 内 容
総務部	3名	・定期総会 中止 ・年間3回の役員会(1回目中止) ・大掃除 中止 ・職員との懇親会 中止 ・理事長との懇談会①中止 ②3名参加
研修部	6名	・アンケートを実施。アンケートの結果、今年度の活動は中止となる。
広報部	4名	・年間1回の部会(電話連絡にて実施) ・年間1回の広報「さざなみ」の発行

19. 相談支援

6月末で事業を終了した。児童4名、成人18名の引継ぎを、みにころと行った。

項目	計画相談支給決定	障害児相談支給決定	モニタリング
件数	0	2	14

20. 苦情相談

令和元年度に受け付けた苦情は、なかった。

保護者からの話に、面談等を行い傾聴に努めた。

21. 事業計画等に対する評価

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策で、パーティションなどを利用し、密にならない食事空間について配慮した。
- (2) 新型コロナウイルス感染症予防については、国からの通知など、情報収集に留意し、感染対策を検討しながら、利用者にサービス提供をする必要がある。不足していた衛生材料や感染対策物資は国や自治体の援助で十分な在庫を確保できた。
- (3) 日中活動において、新型コロナウイルスの感染症対策を考慮しながら、外出や行事を工夫して行った。
- (4) 短期入所と日中一時支援においては、可能な限り利用要望の相談に応じ、受け入れた。新型コロナウイルス感染症警戒態勢中の利用を中止した。今後の利用については、警戒態勢中であっても感染症対策を行ったうえで利用できるように模索していく必要がある。
- (5) 放課後等デイサービス事業においては、新型コロナウイルス感染症警戒態勢中の利用を中止していたが、感染症対策を十分にしたうえでの利用を再開した。
- (6) 社会的養育が必要な児童については、専門的かつ、きめ細やかな支援が必要となり、職員の資質向上が必要となっている。
- (7) 通院においては、各医療機関ときめ細やかな医療連携を図ってきた。
- (8) フィルタリングシステム取り付け訓練においては、全ての職員が操作できるように実施していく必要がある。

•
•
•
•

•
•
•
•